

11/28 朝日

銀行カードローン

日弁連に相談

高齢者も多数

過剰融資の懸念が強い銀行カードローン問題で、日本弁護士連合会は27日までに、この夏に全国で実施した電話相談の結果を集計して公表した。借金の返済が苦しくなった利用者やその家族などからの相談件数は351件で、高齢者が多額の借金におぼれるケースが

多く含まれている。

相談で得た回答のうち、カードローン利用者は60代が32・4%と最も多く、50代、40代が続いた。70〜80代も14・8%いた。職業別では会社員が35・6%と最も多く、年金生活者(22・1%)が続く。失業中の利用者も6・8%いた。

消費者金融などの貸金業は貸し付け上限が「年収の3分の1以下」に規制されているが、銀行カードローンは規制の対象外になっている。